

魚沼市小出郷文化会館20周年記念事業  
友の会・サポーターズ設立20周年記念

# ピアノトリオコンサート

心揺さぶる三重奏が響き輝く



ヴァイオリン 斉藤和久

ピアノ アリーナ・ウエ

チェロ 中村 潤

2016年 11月5日(土)

開場13:00 開演14:00

＜予定曲目＞  
ベートーヴェン  
ピアノトリオ変ロ長調  
ブラームス  
ハンガリー舞曲より  
ピアノラ  
リベルタンゴ、他

※曲目は変更になる場合があります。

- ◆会場：魚沼市小出郷文化会館大ホール
- ◆入場料：前売券2,000円 当日券2,500円  
全席自由 中学生以下無料
- ◆チケット発売：9月3日(土)

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

主催：魚沼市小出郷文化会館友の会  
魚沼市小出郷文化会館サポーターズクラブ  
魚沼文化自由大楽実行委員会

お問い合わせ  
魚沼市小出郷文化会館  
魚沼市干溝1848-1  
TEL:025-792-8811



# 演奏者プロフィール



ピアノ アリーナ・ウー

祖父は現サハリン（元樺太）のロシア領事。東京で音楽教育を受け、16歳でチェコのピアニストJ.ホラーク氏に学び、政府給費留学生としてブラハアカデミーに留学。20歳の時、ショパンピアノ協奏曲 第一番をオーケストラと共演、東京文化会館、東京FM放送にて新人演奏家として紹介される。ブラハアカデミーでピアノをV.カメニコヴァ女史、フラウフ氏、イタリアシエナアカデミア・キジで奨学生としてG.アゴ스티氏に師事。帰国後、国内、チェコ、ポーランド国内、北米、ドイツ国内にてソロリサイタル、著名な演奏家との共演等演奏活動を始める。プラハの「バッハ音楽祭」ドイツの「日本週間音楽祭」に出演。その後、モスクワ音楽院にて名ピアニストE. ヴァルサーラー女史に師事し研鑽を積む。ベルリンドイツオペラで専属歌手として活躍した歴史上唯一のアジア人主役テノールウィリアム・ウー氏との結婚を機に、オペラ公演や歌曲の伴奏者として活躍の場を広げる。新しいクラシック音楽鑑賞法「世界名作朗読コンサート」を創案し、北米、台北、国内にて約100回の公演し芸術祭奨励賞受賞する。現在大学での講義や音楽講座オーケストラ定期公演のソリスト、各地でのコンサートを行っている。

平成26年度魚文事業「サロンコンサート」「学校訪問プログラム」に出演。

父の手ほどきで5歳よりヴァイオリンを、15歳よりヴィオラを始める。桐朋学園在学中、安田謙一郎、有田正広、中野哲也各氏に師事。有田正広氏の演奏に感動し、古楽器に傾倒するが、幼少より父に叩き込まれた良い音、美しい音の感性が合い入れず現在は距離を置く。有田氏が魅力的なのであって古楽器だからではないと気づく。ロバの音楽座のゲストプレイヤーを努め、楽しく心暖まる音楽を学ぶ。桐朋学園大学卒業後、ハーゲンダッツ六本木店に就職。1年後、新日フィルに就職、5年で退職。英国ロイヤルアカデミーサマーコースを受講し、アマデウスカルテット、ノーバート・ブレニン氏の演奏及び指導に求めている感性が共鳴し自身の演奏法を決定づける。松尾学術振興財団最優秀賞を二年連続受賞。大阪国際室内楽コンクール入選。サイトウキネンふれあいコンサートにヴァイオリンとヴィオラダガンバで出演、大阪フィルゲストヴィオラ首席、東京シティフィルゲストコンサートマスターなどで出演。現在スタジオミュージシャンとして小池弘之氏のアシスタントを努め、ドラマ、CM、映画、CDなどのレコーディングに携わる。他に、バッハ協会管弦楽団コンサートマスター。



ヴァイオリン 斉藤 和久



チェロ 中村 潤

東京芸術大学卒業、同大学大学院修士課程修了。音大の研究員等を経てフリー。以降オーケストラ、室内楽を中心に活動、多くの演奏会に出演。国内はもとより海外ツアーにも参加。これまでにウィーン楽友協会、ベルリンのフィルハーモニー（チェンバーホール）、リスト音楽院大ホール、アイゼナハ・ゲオルゲン教会（バッハ受洗の教会）、ライプツィヒ聖トーマス教会といった有名会場はじめ、ヨーロッパ各地の会場で演奏を経験。

2013年パリの名門コンセル・ラムルー管弦楽団日本公演にエキストラに招かれ、このオーケストラが世界初演をしたことでも知られるラヴェルやドビュッシーの名曲など共に演奏、大いに刺激を受ける。2015年公開の「マエストロ」にオーケストラ団員で出演。近年では、TVや多数のスタジオレコーディング、ライブサポート、ミュージカルでの演奏など活動は多岐に渡る。バッハ協会管弦楽団首席奏者。これまでに、チェロを鈴木淳、故青木十良、毛利伯郎、河野文昭、北本秀樹各氏に、室内楽を岡山潔、川崎和憲、植田克己、浦川宜也、澤和樹、故G.ボッセ各氏に師事。